



議案  
11件



報告  
5件



諮問  
2件

## 賛否が分かれた議案等一覧表

| 議案番号   | 議案名                                                    | 結果 | 本田 高一 | 黒田 茂 | 松永 晴香 | 白松 光好 | 奥野 寿夫 | 藤原万起子 | 石井 祐太 | 渡辺 修 | 須藤 有紀 | 東 和子 | 坪井 仲治 | 織部ひとみ | 織部 光男 | 小林 博文 | 山下 敦基 | 山下 修 | 赤堀 博 |
|--------|--------------------------------------------------------|----|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|------|------|
| 議案第40号 | 専決処分の承認について<br>(菊川市国民健康保険税<br>条例の一部を改正する<br>条例の制定について) | 承認 | ○     | ○    | ○     | ○     | ×     | ○     | ○     | ○    | ○     | ○    | ○     | ○     | ×     | ○     | ○     | ○    | —    |

※○…賛成 ×…反対 欠…欠席 ※議長(赤堀 博)は採決に加わらない。

すべての議案名および審議結果は菊川市議会ホームページをご覧ください。議会事務局へお問い合わせください。

## 審査 ピックアップ 議案 第46号

市有財産の取得について  
(学習者用パーソナルコンピュータの新規購入)

◎ タブレット導入後の教育成果の検証は。

① 1人1台端末を日常的に

使う効果としては、学習意欲の向上と非認知能力の向上である。非認知能力とは、友達とうまく関わることや、コミュニケーションで人と困ったことを乗り越えていくなどの能力である。これらはテストでは測れないため、検証は、タブレットの使用状況や学習アプリの活用状況などを学校で確認している。週3回以上の使用頻度が、昨年度は90%程度となっているため、今年度は100%達成を目指している。今後は、授業の中で1人1台端末を活用することにより、ほかの児童生徒との意見交換の場や振り返りの場での活用を促進して、さらに非認知能力を高めていきたいと考えている。

### 〈執行部回答後の議員意見〉

費用をかけて新しいパソコンが入るという事であるため、今までと同じではなく、いろいろな活用を考えていただきたい。

非認知能力の向上というのが成果として強調されていたが、菊川市全体的に学力が低下しているのではないかと、心配の声があり、非常に懸念している。非認知能力も大事であるが基礎学力がしっかりと定着しているのかということと教育委員会でも検証していただきたいと感じた。